

Hirosaki Utagawa

配布資料3
博物館

歌川重正

橋本 日 三 五
次 十



日本橋(丸清版) 個人蔵

歌川重正

保永堂版と丸清版
二つの東海道五拾三次

5/21(土) - 7/10(日) 9:30 ~ 16:30 弘前市立博物館
会期中無休 青森県弘前市下白銀町1-6 TEL:0172-35-0700

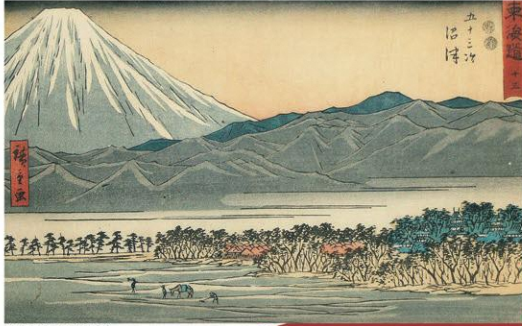
■観覧料 一般/800円(600円) 高校生・大学生/400円(300円) 小・中学生/200円(100円)
※()内は20名以上の団体料金です。※65歳以上の弘前市民、弘前市内の小・中学生、弘前市内の留学生、障がいのある方、ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方は無料となります。※本特別企画展開催中は「高岡の森弘前藩歴史館」との共通券は使用できません。※観覧の際には、マスク着用・手指消毒・検温・入館者記入票へのご記入をお願いします。

- 主催 歌川広重展実行委員会 (東奥日報社、弘前市文化団体協議会、アップルウェブ株式会社、公益社団法人弘前観光コンベンション協会、弘前市)、弘前市立博物館
- 後援 東奥日報文化財団、NHK青森放送局、RAB青森放送、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社
- 企画協力 公益財団法人日動美術財団、日本美術商事株式会社、株式会社永谷園



公式WEBサイト 弘前市立博物館 検索
公式Instagram hirosaki_city_museum

Hiroshige Utagawa



沼津宿(丸清版)



由井宿 薩埵嶺(保永堂版)



岡崎宿 矢矧之橋(保永堂版)

令和4年度 弘前市立博物館 特別企画展1
保永堂版と丸清版
二つの東海道五拾三次
 5/21(土)-7/10(日) 9:30~16:30 会期中無休

「広重の作品には心がある」
 「広重の絵を見て誰も『うまいな』とはいわない。
 『いいな』というだけだ」

—高橋克彦(『浮世絵ミステリーゾーン』講談社・1991年)

歌川広重(1797-1858)の手による55枚の錦絵が公開されたのは天保3年(1832)のこと。天保5年には、保永堂から揃物として刊行され、葛飾北斎「富嶽三十六景」を超える大ヒットとなったのです。それまで地味な浮世絵師であった当時38歳の広重は、一躍、世間に知られるようになりました。

広重は、この後も同じ趣向の「東海道五十三次」を次々に世に出し、風景画家としての地位を確立します。さて、この中でも隷書東海道とも称される丸清(丸屋清次郎)版は、残存数も少なく、保永堂版と共に二つの版を一堂に会することは非常に稀であるといえます。

この特別な機会に、二つの東海道五拾三次と、現地の写真も展示することといたしました。旅に出るのが難しいこの時期、旅の風に吹かれに、弘前市立博物館へ足を運んでみませんか。

【常設展】ひろさきの歴史と文化 ～原始から近現代～



国指定有形文化財 猪形土製品
 ※本特別企画展開催中はレプリカの展示となります。



常設展示の風景 歴史展示室
 ※本特別企画展開催中は内容を一部縮小しております。



弘前市立博物館
 マスコットキャラクター
 いのっち



弘前市立博物館

青森県弘前市下白銀町1-6 TEL: 0172-35-0700

■交通案内

電車・バス/東北新幹線新青森駅より電車で40分、JR奥羽本線弘前駅下車
 駅より土手町循環100円バスで市役所前下車、徒歩5分 または弘南バスで市役所前公園入口下車、徒歩5分
 車/東北自動車道 大鰐弘前ICより30分 ※博物館専用駐車場はありません。近隣駐車場をご利用ください。